

形成外科

○手術分類変更の為、2018年度分からは別表

形成外科手術内訳

単位：件

区 分	2015年度	2016年度	2017年度
新鮮熱傷(全身管理を要する非手術例を含む)	11	13	17
顔面骨折および顔面軟部組織損傷	68	43	58
唇裂、口蓋裂	0	0	0
手・足の先天異常、外傷	44	48	35
その他の先天異常	11	17	20
母斑、血管腫、良性腫瘍	223	215	206
悪性腫瘍およびそれに関連する再建	62	80	82
癬痕、癬痕拘縮、ケロイド	15	15	16
褥瘡、難治性潰瘍	10	14	23
美容外科(レーザーは含まない)	0	0	0
その他	94	115	139
合 計	538	560	596

形成外科レーザー及び光線治療内訳

単位：件

治療機器	2015年度	2016年度	2017年度
CO ₂ レーザー	18	24	22
Q-switched YAGレーザー	25	28	31
レーザー・トーニング	10	4	4
フォトフェイシャル	4	2	2

○手術分類変更の為、以下2018年度分から

形成外科手術内訳

単位：件

区分	2018年度	2019年度
外傷	90	88
先天異常	14	31
腫瘍	336	389
癬痕、癬痕拘縮、ケロイド	9	15
難治性潰瘍	39	15
炎症・変性疾患	111	83
その他	31	32
合計	630	653

形成外科レーザー及び光線治療内訳

単位：件

治療機器	2018年度	2019年度
CO ₂ レーザー	7	8
Q-switched YAGレーザー	21	15
レーザー・トーニング	3	4
フォトフェイシャル	0	0

それぞれの対象疾患は以下の通り

- CO₂レーザー：黒子、老人性疣贅、汗管腫などの小隆起性病変
- Q-switched YAGレーザー：シミ(老人性色素斑)、アザ(太田母斑、異所性蒙古斑、扁平母斑)、刺青(外傷性、コスメティックを含む)
- レーザー・トーニング、フォトフェイシャル：シミ(老人性色素斑、肝斑)